

人権トリビア

～ 無駄にならない豆知識 ～

① 次のマークは、どのような意味を表しているのでしょうか？



- (ア) 高齢者に配慮した設備・施設
- (イ) 身障者が利用できる設備・施設
- (ウ) 車いすの利用者が利用できる設備・施設

③ 次のマークは聴覚障がい者のためのマークです。このマークはどのように使用されているのでしょうか？



- (ア) 自分の耳が不自由であることの自己表現
- (イ) 聴覚障がい者のための案内板に表示
- (ウ) 聴覚障がい者はおことわりの表示

② 自動車につける次のマークは、どのような人が使うものでしょうか？



- (ア) 運転初心者
- (イ) 高齢者
- (ウ) 肢体が不自由な人

④ 次のマークは、どのような意味を表しているのでしょうか？



- (ア) 補助犬を販売しているお店のマーク
- (イ) 補助犬が公共や民間の施設または交通機関で同伴できることを周知するためのマーク
- (ウ) 補助犬が同伴できる施設や交通機関に貼ることが義務付けられたマーク

■こたえ

① 正解 (イ)

すべての障がい者を対象としています。車いす利用者や肢体不自由者だけを対象としているわけではありません。個人の車に表示した場合、障がい者が乗っていることを周囲に知らせることはできますが、道路交通法上の規制を免れるなどの法的効力は生じません。

② 正解 (ウ)

このマークは、肢体不自由であることを理由に、運転免許に条件を付されている方が運転する車に表示する標識です。やむを得ない場合を除いて、このマークをつけた車に幅寄せや割り込みを行った運転者は、道路交通法の規定で罰せられます。

③ 正解 (ア)

このマークは預金通帳、診察券などに貼付されています。聴覚障がい者は、「声をかけたのに返事をしない」と誤解されるなど、生活上の不安が多くあります。耳の不自由な方と話すときは「口元を見せて話す」「筆談をする」などの配慮をお願いします。

④ 正解 (イ)

補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）は社会的マナーを訓練された犬で、体の不自由な方の体の一部となって働いています。「身体障害者補助犬法」が施行され、公共の施設や交通機関はもちろん、スーパー、ホテルなどの民間施設でも補助犬が同伴できるようになりました。